



# 第4回新しい学校づくり検討会 学校のコンセプトが決定!



新しい学校づくり  
かわら版 Vol.5  
2023.6発行

第4回新しい学校づくり検討会を、榛原地域は5月10日に市役所榛原庁舎で、相良地域は5月12日に市役所相良庁舎で開催しました。今回検討した内容は、「学校のコンセプト・整備方針」、「必要な部屋と施設の複合化・多機能化・高機能化」についてです。

## 学校のコンセプト・整備方針

コンセプト案・整備方針案(これまでの検討会で出された意見を事務局がまとめたもの)をもとに、グループで意見交換を行い、榛原・相良両地域のコンセプトが決定しました。



### [榛原地域のコンセプト]

地域と共に わくわく学び・  
体験できる みんなの学校

「地域と共に」が入っていた方が、地域の方も「私たちと一緒に学校作りに関わっていくのだ」と分かりやすいきっかけになる

地域に開かれた学校として、共有スペースが作られる。地域になじむ学校施設でなければならない

地域と関わったり学んだり体験をすることを通して「ワタシ」を育てていく、というのをサブテーマにしたらどうか。その中で自分や友達が好きになり、多様性を尊重していくような子どもに育ててほしい。みんな大好きな学校になったら良い

地域の人に認められる、歓迎される学校であるというのが、学校が長くあり続けるという意味でも大事なのは

学んでいくのは子どもたちなので、子どもたちが確たる自分を作ってほしい。そこから未来に広がっていく建物が1番理想

### 検討委員の意見(抜粋)

### [相良地域のコンセプト]

夢につながる みんなの学校

子どもたちの夢を我々が応援していくことも含め、夢につながるように、というのが良い

人生の出発点として主体性を育み、教員、地域、保護者の皆で子どもの志を育てることにより、子どもの夢の実現につなげることが出来る

小学校、中学校で人としての根っこが土台となって最終的に夢につながっていく

大切にしたいことは「夢」。夢を実現するために力をつける場所にしたい

子どもたちが学ぶ学校 + 地域の人たちも学んだり集まったりする学校

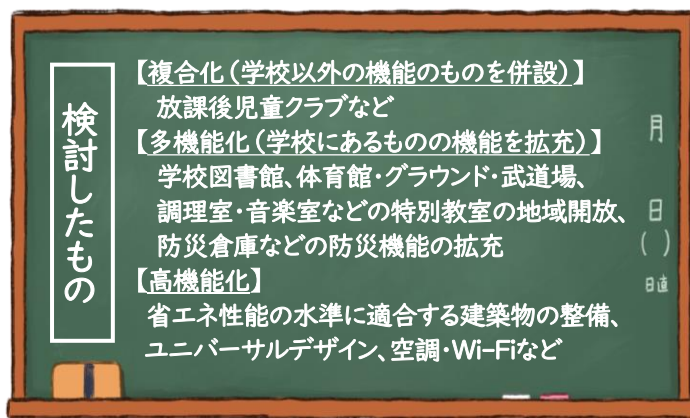
9年間の学びで完成しない子がいてもいいし、夢が持てない子がいてもいい。自分の未来に向かって、力強く歩いていくためのスタートラインになるような学びができればいい。それが牧之原全体の未来につながっていく

# 必要な部屋と施設の複合化・多機能化・高機能化

必要な部屋の考え方、学校施設の複合化・多機能化・高機能化の考え方について話し合いました。

特に、学校図書館や体育館・グラウンド、特別教室、防災機能などの施設機能について、「地域の皆さんが利用するニーズがあるかどうか」や「施設の地域開放と子どもの安全のバランス」などについて、活発な意見交換が行われました。

次の第5回検討会では、今回出された意見をもとに「施設配置やエリア分け」について意見交換を行う予定です。



## 検討委員の意見(抜粋)

図書館は「いこっと」や榛原図書館があるので、学校図書館を開放する必要はないのでは

利用者登録、顔認証システム、AI等のシステムを入れる

公民館を併設すれば地域の目が届く

開放するなら子どもの作品や備品を避難させるスペースがほしい

2つの図書館がなくなった時のことを考えて開放しておきたい

ボランティアや地域の人、システムだけでは安全対策は不十分。仕事として管理する人がほしい

女性が使いやすい施設

料理教室のようなことを学校の調理室でできたらいい

図書館を自習スペース等として使えるように、放課後や休みの日に開放する

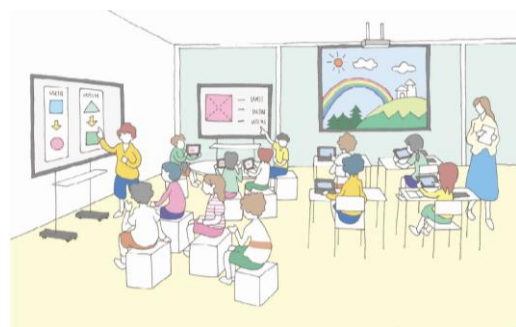
最初から地域にたくさん開放するのは、子どもたちの安全性を責任もって確保できるか不安

放課後児童クラブは、新しい学校に併設されているクラブと地元にあるクラブの選択制にしてはどうか



## 新しい学校づくり豆知識 3 学校施設の5つの姿の方向性 ① 柔軟で創造的な学習空間とは？

前回の「豆知識2」でお伝えした「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」(文部科学省・学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議)の中で示されている「5つの姿の方向性」について、新しくつくる義務教育学校ではどう対応していくか、順番に解説します。



多様な学習活動が展開できる空間の例

### ① 柔軟で創造的な学習空間の実現

新しくつくる義務教育学校では、▶可動間仕切りの開閉で廊下兼オープンスペースとのつながり方を調整できる、セミオープン型でゆとりある広さの普通教室▶2学年が使える広さの多目的ルーム▶収納や機能を充実させ、普通級との活動も考慮した配置の特別支援教室▶子どもの動線上となる学校の中心に設置し、異学年交流の場となる、明るく開放的な学校図書館▶学校敷地内すべてのユニバーサルデザイン化 — など、子どもや教職員等のさまざまな使い方や多様性に対応した施設を検討しています。

新しい学校づくり検討会は、昨年度に引き続き、多くの皆さんの意見を反映した学校をつくるために、さまざまな形で意見を聞きながら進めていきます。

これまでのかわら版▶

